

# 第93回定例会 予算に関する特別委員会 30年度一般会計予算・ 29年度補正予算を委員が問う

1 第一産業の振興、雇用の場の創出等による税収の向上や税の滞納繰越の縮減に取

## 委員長報告



予算に関する特別委員会  
委員長 齊藤 登

深浦町議会第93回定例会予算に関する特別委員会は、3月5日から7日までの3日間にわたり、平成30年度当初予算関係議案8件、平成29年度補正予算関係議案6件、条例関係議案13件、深浦町教育委員会委員の任命の件1件、深浦町農業委員会委員の任命の件14件、公の施設の指定管理者の指定の件41件、その他議案3件、諮問2件、以上88件について審議をいたしました。

審査過程においては、各般にわたり多くの質疑があり、十二分な論議がなされました。主なものは次のとおりです。

り組み、引き続き、自主財源の確保に努めるべきである。

2 轟木から追良瀬に下る最初の急カーブは、以前から事故が多発し、今後的人身に関わる事故が懸念されるので、片勾配の解消や急カーブの存在を知らせる看板の設置等を早急に実施するよう申しねすべきである。また、狭隘で急カーブの多い当町の道

路事情に鑑み、道路診断等の危険箇所調査を平時から実施し、関係機関との連携の下に適切な交通安全対策を講じるべきである。

3 高齢者等が不安や不満を感じずに行政サービスを受けられることができるよう、個人情報保護の保護に配慮しながらも、可能な限りの窓口サービスの簡素化、利用者に寄り添った窓口対応に、一層の工夫を凝らすべきである。

4 インターネット閲覧環境を持たない高齢者等が、気軽に町の歩みを振り返ることができるよう、広報誌の縮刷版の発刊を強く希望する。

5 霊安室整備推進事業の実施に当たっては、地域が協力して弔事を行うという共助の意識の醸成にも、併せて配慮する必要がある。

6 八森山町民の森の沿道の桜は、テング葉病で花が咲かない状況であるが、海岸地帯の環境に適した八重桜への植え替えを行い、子供たちが自然の中で遊べる遊具の整備も

検討する必要がある。

7 平成30年度をもって事業が最終する住宅リフォーム推進事業費については、町民の要望の把握に努め、必要に応じて事業の継続を検討すべきである。

8 学校図書購入に当たっては、子供たちに読んでほしい本を用意するとともに、子供たちの要望も調査の上、図書の充実に配慮すべきである。

9 外国人旅行者が年々増加している現状に鑑み、観光関係団体に語学堪能な人材を配置することを検討すべきである。また、十二湖公園内への旅行者の増加に対応し、トイレの洋式化等、施設・設備の充実に努めるべきである。

## 委員会質疑応答

問：小野文之委員

町税は予算の全体の9.4パーセントである。類似自治体と比較してどうか教えてほしい。また、町税を増やすには、第一産業の所得向上に



力を入れる方が必要と思う

が。

秋田県三種町は3町が合併したが、町税の割合は14・2パーセント。能代市や秋田市にも近いということもあり、仕事の場合があることが要因だ

と思う。 当町の場合、第一次産業、特に漁業及び観光事業について、どのように所得向上につなげるかが課題であり、また、町税を増やすには、雇用の場の確保が重要と考える。最近、首都圏からのイターン・ウタ

ーン波もある。そして、深浦で働きたいという方もいるので、仕事プラス住宅制度、そして子育て支援をいかに充実していくか非常に大事になる。医療の問題については、6月に新診療所が開設する

ので、町民等のニーズに添えていくことで、若い人が定着し、税収の伸びにつながることを期待している。 そして、漁獲量が低迷する中で、(株)オカムラ食品では、

サーモン養殖事業進展により従業員50人から60人規模の加工場を建設したい意向であり、町としても、5年・10年先を見据えて頑張っていきたい。

問：石沢委員

轟木から深浦方面へ向かう国道101号の追良瀬の最初の急カーブで家屋に車が突っ込む事故が毎年のように起きている。人身事故が起こる前に抜本的な対策を講じてほしい。

問：工藤委員

一昨年、風合瀬鳥居崎のカーブで死亡事故が発生し、その後、道路診断を行い、注意喚起の看板が設置された。当町の国道は、狭隘で急カーブが多いので、すべての国道、町道を点検する必要があると思うが、交通安全対策に関する取組姿勢について伺う。

答：建設課長

追良瀬の事故多発箇所ですが、県の鰯ヶ沢道路河川事務所によると、現状は道路の片勾配が逆になっており、車が

コースアウトしやすい構造であり、湧水が見られるので、水漏れの原因についても、水道課と連携しながら原因を調査している最中であり、春になったら、側溝を入れて集水する手立てと、片勾配の解消を考えているとのことである。

答：町長

交通安全対策については、鰯ヶ沢警察署、深浦交番、交通安全指導隊、交通安全母の会等が、防犯対策も含めて年1回の会議を開催して協議している。また、道路診断は毎年実施しているが、事故があった場所は徹底して検証するものの、他の道路については、なかなか議論にはならないので、今後、広く行政連絡委員

等の意見を聴きながら、本当に改善が必要な道路等を交通安全対策委員会の中で啓発していきたい。

問：町民課長

危険な箇所におけるカーブミラーの設置については、引き続き検討していきたい。道路診断についても、対策を講じる必要性のある場所は、毎



▲風合瀬鳥居崎に設置された看板（深浦方面から）



▲風合瀬鳥居崎に設置された看板（鰯ヶ沢方面から）



▲追良瀬の坂道の急カーブ

刷版は作成しないのか」との意見があった。合併して13年、町の歴史を記録する一環として必要ではないかと思うが、そのよう

答：総合戦略課長

広報の縮刷版については、最近発行していない。現在は町のホームページに広報の記事をほとんど掲載していることが理由であるが、今後、検討していきたい。

問：総務課長

町史の編纂については、合

併15周年に合わせて進めてまいりたいと考えている。

問：亀川委員

住宅リフォーム事業について、今年度の状況及び平成30年度の申請の受付期間を教えてください。

答：建設課長

住宅リフォーム事業については、平成25年度から開始して今年で5年目を迎えた。今年度が最終年度となるので、広報等で十分周知していきたいと考えている、実績については、5年間でリフォームの申請件数は410件、補助金は8974万3千円となっている。

問：藤田委員

霊安室整備推進事業費600万円の予算化に至る経緯について説明願いたい。

問：藤田委員

霊安室整備推進事業費600万円の予算化に至る経緯について説明願いたい。

答：町民課長

平成30年度における単年度の新規事業である。29年度において、小規模葬儀等の住民からの要望で、最低限、遺体を安置する場所に困るようなケースがないような対策について検討委員会で議論してきた。

万円と見立て、その5分の3、60パーセントの300万円を上限として補助しようということから、町内の2業者分の整備費を見込んで、600万円を補助事業として予算計上したところである。

問：工藤委員

八森山町民の森の沿道の桜は、テング巢病でほとんど桜が咲かない状況になっている。せっかくの桜並木に桜が咲かないと意味がない。

地域的に深浦は、ソメイヨシノは合わないと思うので、環境に適した遅咲きの八重桜などに切り替えていった方がいいのではないかと。 また、八森山の自然の中で子供たちの遊具がほとんどない状態なので、簡単に遊べるような環境づくりが必要ではないか。

答：財政課長

桜のテング巢病については2年続けて枝打ちして薬を塗る作業をしたが、付近に杉の木が多くある場合、テング巢





▲学校図書（いわさき小学校）



▲学校図書（深浦中学校）

**問：藤田委員**  
 本庁・両支所の窓口業務のサービスについて、高齢者をはじめ住民の方々は、書類申請及び手続きを困難と感じているのではないかと。個人情報で法律厳守の中で難しい問題とは思いますが、土日でも手続きなどができるような対応をするなど、も

**答：町長**  
 大切な書類等を申請できなくなつた高齢者の方をサポートしてくれるのはやはり家族だと思つて。家族が代理者で申請する。それができない場合は他人であつてもお互いの信頼関係で可能と思つて。年末年始以外は、イオンモールつがる柏店内で窓口業務を行っているつがる市など、どのようなサービスができるかいろいろな例を広域的に情報収集していきたい。

会話していると聞いている。現状では語学に堪能な人材の確保は少し難しいかと思つている。いづれ機会を設けて、宿泊施設や観光に関連する皆さんと一緒に語学の勉強や対応を進めていければと考えている。

**問：工藤委員**  
 学校図書の選定は各学校で決めているのか、国、県から指定されて配置しているのか。子供たちの意見や意向に配慮することも必要ではないかと思ふ。

**答：教育課長**  
 各学校の図書に関しては、司書教員のいる学校もある中で、その指導を仰ぎながら図書の選定をしているところである。

**答：町長**  
 IT化が進展している現代において、子供たちが文字に触れる時間が非常に少ないという事はみなさんも聞いていると思つて。図書の選定については、先生が子供に読んでほしい本や子供たちも読みたい本があることを前提に、計画をもつて担当者が対応していると思つて。また、古い本や読まなくなった本は新しいものに更新し、子供たちが読みたくなるように各学校では工夫してやっていると聞いている。

**問：藤田委員**  
 本庁・両支所の窓口業務のサービスについて、高齢者をはじめ住民の方々は、書類申請及び手続きを困難と感じているのではないかと。個人情報で法律厳守の中で難しい問題とは思いますが、土日でも手続きなどができるような対応をするなど、も

**答：町長**  
 大切な書類等を申請できなくなつた高齢者の方をサポートしてくれるのはやはり家族だと思つて。家族が代理者で申請する。それができない場合は他人であつてもお互いの信頼関係で可能と思つて。年末年始以外は、イオンモールつがる柏店内で窓口業務を行っているつがる市など、どのようなサービスができるかいろいろな例を広域的に情報収集していきたい。



▲八森山町民の森の沿道の桜



▲八森山公園

病が蔓延しやすいということである。今後、専門の造園業者、専門家と相談して適切に対応していきたい。

**問：八森山公園全体**  
 は、昭和55年頃に開園して、遊具も古くなり、一番大きな滑り台以外は撤去している状況である。ただ、ゴルフ場や野球場については、手を掛けて整備している。今後は、施設全体の在り方についても

**答：町長**  
 協議していく必要性があると考えている。

**問：八森山公園**  
 家族が事前に役場に登録していただくことである。登録することで、町の地域包括ケアセンター、警察署、消防署など関係機関で情報共有が可能となり、発見する可能性が高

**問：亀川委員**  
 年々増加する外国人観光客に対応するため、語学堪能な人材を配置することを検討してはどうか。

**答：観光課長**  
 外国人観光客は毎年増加している。宿泊施設等では、スマホとタブレット等を使って

**問：菊池委員**  
 認知症高齢者支援対策事業費の詳細について説明願いたい。

**答：福祉課長**  
 認知症高齢者支援対策事業費には2つの事業がある。1つは、認知症・高齢者等事前登録事業費で、徘徊の可能性がある認知症の方が万一徘徊して家に帰れなくなるなどの懸念がある場合、